【中止】フェーズごとの徹底的ケーススタディ疑似体験から学ぶ、プロジェクトマネージャーの勝利の方程式（4119123）

－若手・中堅プロジェクトマネージャー、プロマネ未経験者必見！！－
フェーズごとの徹底的ケーススタディ疑似体験から学ぶ プロジェクトマネージャーの勝利の方程式

本講座を通して、より信頼されるPM、より行動的なPMの育成につなげます。
1. 各フェーズごとの徹底的なケーススタディを通じて、若手・中堅のPMが経験できないプロジェクトが疑似体験できる。
2. 各フェーズごとの徹底的なケーススタディを通じて、PMの問題解決力、マネジメント力を強化する。
3. PMの行動原則をもとに、自己評価を行い、自身の改善目標を立てる。
4. グループ討議などを経て、他人の考え方にも触れ、幅広い視野と人間力強化につなげる。

開催日時	2020年3月6日(金) 10:00-18:00
カテゴリー	IS戦略実行マネジメント・プロジェクトマネジメント　業務遂行スキル 専門スキル
講師	河尻直己 氏 （KNコンサルティングオフィス 代表 ） 株式会社電通国際情報サービス、ならびにアビームコンサルティング株式会社を経て、現在に至る。　数多くの大規模プロジェクトのプロジェクトマネジメントを担当。また組織責任者として多数のプロジェクト管理に関わった他、PMO部門の創設ならびに運用をおこなう。　現在、PMの育成、PMO強化、ならびにIT戦略立のコンサルティングを実施。米国PMI/PMI日本支部会員、ならびに情報処理技術者(プロジェクトマネージャ)
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：33,000円 一般：42,000円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み） 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	若手・中堅プロジェクトマネージャー、プロジェクトマネージャー未経験者 中級
開催形式	講義、グループ演習
定員	無制限
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	事前に読んで来ていただくもの（成果物はなし）があります。 お申込み頂いたマイページからダウンロードできます。
ITCA認定時間	7

主な内容

若手・中堅のプロジェクトマネージャー、もしくはプロジェクトマネージャー未経験の方が、フェーズごとの徹底的なケーススタディを通して、プロジェクトを疑似体験。プロジェクトマネージャーに求められる問題解決力、マネジメント力を強化できるセミナーです。

プロジェクトマネージャーに必要な知識・スキルの強化をはかることに加え、講師の体験事例やグループ討議を経て、他人の考え方にも触れることでより幅広い視野を身に付けます。

更にプロジェクトマネージャーの行動原則をもとにして自己評価を行い、自身の改善目標を立て成長を目指します。

<<内容>>

※プログラムは変更する場合がございます。

プログラム	本講座で取り上げる事項

1．イントロダクション （1）コースの目的と概要 （2）ケーススタディーの運営と留意点	・　コースの目的とケーススタディーの運営方法。
2．PMとは （1）PMBOKが定めるPMの定義 （2）PMに求められるスキル （3）PMに求められる人間力	・　PMBOKの定義に加えて、PMに求められるPM知識とマネージメントスキル、ならびに人間力の重要性について。
3．ケーススタディー1　　PMにアサインされて先ずすべきこと （1）プロジェクトのリスクの分析 （2）プロジェクトスタート時に打つべき手	・　事前配布のプロジェクト説明書から、プロジェクトのリスク分析とプロジェクトの成功に必要なものを事前検討の上、「勝利の方程式」を立てる。 ・　グループからの発表と質疑応答、学ぶこと等のまとめ。
4．ケーススタディー2　　要件定義フェーズ （1）ケースの説明 （2）事前対策の検討 （3）PMの取るべき行動とは （4）問題解決策 （5）このケースから学ぶこと （6）このフェーズで留意すること	・　要件定義フェーズにおけるプロジェクト規模のコントロール問題。 ・　先ず自分の考え（事前対策（勝利の方程式）、PMの取るべき行動、問題解決策）をまとめ、グループ内討議の上、代表グループからの発表と質疑応答を行ない、このケースから学ぶこと、留意すべきことをまとめる。
5．ケーススタディー3　　基本設計フェーズ （1）－（6）　同上	・　基本設計フェーズにおける人のマネジメント問題。
6．ケーススタディー4　　詳細設計・開発フェーズ （1）－（6）　同上	・　詳細設計・開発フェーズにおける、外注先の進捗遅れ問題。
7．ケーススタディー5　　テストフェーズ （1）－（6）　同上	・　テストフェーズにおける品質問題。
8．PMの行動原則と自己評価 （1）PMの行動原則 （2）PM自己評価 （3）今後の改善目標	・　PMにとって重要な行動原則とは。 ・　PM行動原則に基づいて、日頃の行動を自己評価。 ・　ケーススタディーで学んだことや、自己評価結果から、今後の改善目標を立てる。
9．全体のまとめ	・　ケーススタディー全体を通じて学ぶ点、教訓など。

<<過去の参加者の声>>

・実際に起こりそうなケーススタディを疑似体験でき、解決や問題点が理解しやすく、実績に裏打ちされた説明がわかりやすい（メーカー）
・実践形式のセミナーで、自分で考えることが必須であったため、気づきが多かった（通信業）
・今後PMになる方、IT部門でシステム開発に携わる要員には、ぜひ受けてもらいたい実践的な講座だった（建設業）